

## 津山市地域公共交通の活性化及び再生に関する協議会（第2回）会議録(要旨)

平成21年9月1日 14:00～15:00

津山市役所2階 大会議室

### 1 開会（事務局）

### 2 会長挨拶

### 3 報告事項

#### (1) 第1回協議会報告

（事務局） 会議録により第1回協議会内容の報告。市長より協議会に対し、新しい視点での交通システムの再編を依頼。市長・副市長を協議会の会長・副会長に選任し、協議会規約・財務規程・事務規定・予算・国庫補助事務の経過について説明し、承認いただいた。その後、現状と今後の取組みについて、橋本先生からご説明いただいた。⇒承認。

#### (2) 経過報告

##### ア 国庫補助事業経過

（事務局） 本事業につきましては、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、国土交通省の補助を受けて実施している。「津山市地域公共交通総合連携計画」策定調査に係る補助につきましては、本協議会が設置されました3月26日に認定申請し、4月22日に認定を受け、その後、5月8日に交付申請、5月15日に12,000,000円の補助申請に対し、2,600,000円少ない9,400,000円の交付決定を受けた。これで予算額が確定したので、当初予定より、総額について2,600,000円の減額ということでご承認いただければと思います。

事業費の内容については次の策定調査業務経過のところでご説明。

##### イ 策定調査業務経過

（事務局） 計画策定調査業務につきましては、4月20日幹事会を開催、限られた日程を有効に活用するため計画策定の基となる調査の実施、これに係る業者選定については幹事会の責任において実施し、協議会構成員へは文書にて報告すること、選定については指名型簡易プロポーザル方式で実施することとした。4月30日から5月19日まで受付し、8社の応募があり、6月2日各社のプレゼンテーションの後、幹事会で構成する審査委員会で総合評価を実施し、(株)福山コンサルタントに決定した。もう一つの委託料につきましては、地図情報システムを活用した、バス利用の主体である高齢者・学生等の地図上の分布調査です

### 4 協議事項

#### (1) 地域概況・将来都市像

（事務局） 地域概況ですが、居住人口については特に阿波村・加茂町・久米町について著しい減少傾向が見られ、高齢化率については旧町村において急速に進んでいる。旧市内においても、中心部で高齢化率の非常に高い地域がある。

世帯数については、人口減少にもかかわらず増加傾向にあり、一世帯当りの構成人員が減少、高齢者世帯において特に著しい傾向にあります。総合病院・大規模商業施設の分布について説明。

地域交通の現況としては、公共交通の利用は4.4%と低調であり、自動車保有台数については人口減少に先じて減少傾向にあります。

道路交通センサスに基づく道路幅員・自動車交通量・旅行速度を説明。将来都市像について、第4次総合計画、都市計画マスタープラン、都市再生整備計画を示し説明。第4次総合計画中期実施計画での軌道修正を経て、まちづくりはコンパクト化と拠点連携を軸に進んでおり、本計画もこれに沿った形で進める。本年度は並行して既に歴史的風致維持向上計画が策定され、今後中心市街地活性化基本計画が策定される予定。

#### (2) 公共交通概況・アンケート結果

（事務局） 公共交通の現況について、バス停周辺300m圏と路線と人口分布を提示。運賃については定額姓、キロ制、無料が混在して状況。運行本数と人口分布の関係では、鶴山通り、中央病院方面が非常に競合している。そのため初めて利用する観光客等には非常にわかりにくいものとなっている。

収入状況を見ると、いずれも赤字であることがわかる。特にあばバスの収入が低い。市の財政負担は、年1.2億程度である。

JRの利用状況を見ると減少傾向に歯止めがかかっていない。JRが通勤・通学で果たす役割はその輸送量においてバスで代替できないほど大きく、存続は必須課題である。美作加茂駅におけるJRとバスの連絡ですが、必ずしもうまく連携できていない。

アンケートについては、PT調査を含み、記述が多かったため、予想どおり回収率は低かったのですが、十分な数を発送したため、必要サンプル数は確保できた。PT調査については現在分析中で、9月に実施する乗降調査の結果と合わせて報告する予定。合わせて、把握される潜在需要、また、学生・高齢者の分布調査をバス路線の見直しに利用する予定。調査日の状況は、8割の人が外出していた。多くは自家用車の利用で、公共交通の利用は数%に留まっています。

バス利用の状況では、利用は少ないにもかかわらず8割以上の人が必要性を認識している状況がある。バス路線維持のための利用、さらなる負担も否定されていない。

交通事業者の聞き取り調査からは、経費削減のための効率的な運行の必要性、違う運賃体系混在への不公平感が読み取れる。

### (3) 問題点・課題の整理

(事務局) 地域の問題としては、高齢化の進行である。現況公共交通の問題としては、中心市街地に路線が集中している割に利用が少ない。競合路線で運賃が異なるところがある。全部の路線が赤字であることがあり、アンケートからは現況以上のバスが必要との市民の認識が伺える。

一方、市の財政状況は非常に厳しい環境下にあり、H21年度からH25年度の財政計画において26億以上の財源不足が見込まれ、H27年度以降は合併特例の終了により地方交付税が段階的に減額。新クリーンセンターの建設等による新たな財政負担も想定され、公共交通へさらに経常的に財源を投入していくことは非常に困難な状況。

このことから、課題としては、維持継続ができる効率的な運行体系を構築すること。合わせて利用促進のために利便性の向上をはかること、この二つを両立させることが課題。

地域毎の問題点・課題については、10月以降地域毎の分科会分会で詳細に協議していく予定です。

### (4) 基本方針

(事務局) 今後の基本方針として次の5点を提案させていただきます。①点目が幹線と支線を明確にすることで、効率的運行体系を構築し、維持継続できるものとする。②点目が競合路線・混在運賃の解消を図ること③点目が乗継の工夫、乗継停留所の整備により利用促進を図ること④点目が住民との協働による公共交通の維持、最後⑤点目がPDCAサイクルの確立です。この基本方針に基づき、今後具体的協議を進めていくことになる。

### (5) 今後のスケジュール

(事務局) ご承認をいただきました基本方針に基づきましてより具体的に、詳細に検討していくことになる。津山市域は大変広く、地域的な特性・課題もあるということから、合併前の5地域毎に検討を進めていくこととさせていただければと考えている。その詳細については、本日予定しております分科会において協議していただくこととしているが、地域毎に分科会の分会を設置、9月末より10月にかけて地域毎に提案し、意見等をいただき、調整した上で再度11月に提案、そして調整して地域毎の成案としていただければと考えている。これを年末・年始を予定している分科会全体会で調整した上で協議会へ報告と考えている。

協議会においては、分科会報告を受けて年明け早々に計画案の調整に入り、1月末を目途に協議会案を調整、2月にパブリックコメントを実施した上で、3月末には計画を成案という予定。

以上(1)～(5)について承認。

## 5 その他

## 6 閉会